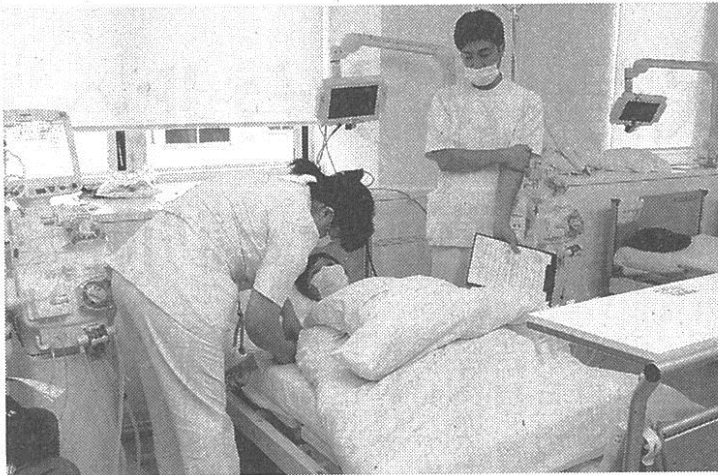


山口 透析患者の防災訓練

阿知須 共立病院 患者ら15人が災害時対応学ぶ



透析患者を対象とした防災訓練が29日、山口市阿知須の阿知須共立病院であり、患者や家族ら計15人が

透析中に災害が発生した際の対応を学んだ。

同病院が定期的に開いている「透析セミナー」の一

つ。同病院透析センター長の三好正敬医師が「東日本大震災の発生以降、避難訓練の重要性が叫ばれている。災害時の対応や体制を

透析中の地震発生を想定したデモンストラーションを披露する職員ら29日、山口市

透析中に大地震が発生し、火災や倒壊などの危険が迫ったとの想定で、職員がデモンストラーションを実施。患者は針が抜けないように透析回路を握り、ベッド柵をつかんで揺れが収まるのを待ち、職員が透析を停止して針や回路を緊急回収する様子を披露した。副センター長の高橋達世医師が防災ハンドブックを基に、避難時に透析手帳やお薬手帳を持参するよう呼び掛け、避難生活での食事や水分の注意点なども説明した。

「透析中に大地震が発生し、火災や倒壊などの危険が迫ったとの想定で、職員がデモンストラーションを実施。患者は針が抜けないように透析回路を握り、ベッド柵をつかんで揺れが収まるのを待ち、職員が透析を停止して針や回路を緊急回収する様子を披露した。副センター長の高橋達世医師が防災ハンドブックを基に、避難時に透析手帳やお薬手帳を持参するよう呼び掛け、避難生活での食事や水分の注意点なども説明した。」

同センターによると、慢性腎不全の患者は週3回の透析治療が必要で、1人に

つき約120リットルの水を要するなど、非常時の治療の確保が全国的な課題とされる。同病院では貯水タンクや自家発電装置の設置、透析に必要な薬品の備蓄といった災害対策を取っているという。

湯田温泉地ビール

中国4県から6醸

山口地ビール(山口市)や山口秋ビール(秋市)など、中国地方の六つのビール醸造所が集う地ビールの祭典「湯田温泉地ビール倶楽部」が1、2の両日、山口市湯田温泉の井上公園で初めて開かれる。

地ビールの認知度向上や地域活性化を目的に、山口市の飲食店や行政関係者らでつくる実行委員会(和泉

きょうとあす、山口・湯田温泉で初開催



望東尼物語

県 央



情報お待ちします

山口支社
〒753-0814
山口市吉敷下東1-3-1
TEL083(922)6546
FAX083(923)6548
✉ yyama@minato-yamaguchi.co.jp

防府支局
TEL0835(21)3837
FAX0835(21)3837
✉ yhoufu@minato-yamaguchi.co.jp

購読申し込みは
フリーダイヤル
(ヤマガチ・ヨミゴロ)
0120-80-4356